

次号予告

特集 モデリング—さまざまな分野, さまざまな視点から—

- OR on OR の思い出—OR 活動と IE 活動の対比による考察—……………川瀬武志 (ジエヌエヌ)
「モデル」についての—数学者の雑感……………深谷賢治 (京 都 大 学)
シャノンの定理を物理のモデルを通して眺める ……………樺島祥介 (東京工業大学)
多数決規則の粒子系と確率モデル ……………伊藤栄明 (統計数理研究所)
ナノの世界の最適化モデル—原子スケール摩擦のシミュレーション—
……………佐々木成朗 (成 蹊 大 学), 三浦浩治 (愛知教育大学)
海洋モデルとデータ同化を用いた海況予報 ……………蒲地政文, 碓氷典久 (気 象 庁)
モデリング—直流磁気シールドの開発を例にとって— ……………笹川 卓 (鉄道総合技術研究所)
ベイジアンネットワークによる遺伝子ネットワークの推定 ……………井元清哉 (東 京 大 学)
列挙を用いたモデリングの進展 ……………宇野毅明 (国立情報学研究所)
老子が見た最適化モデル ……………中森真理雄 (東京農工大学)

編集後記

- 本号の特集テーマは「職業としてのOR」である。この題名で、マックス・ヴェーバーの「職業としての学問」を思い出す人も多いだろう。「職業としての学問」は第1次世界大戦直後にヴェーバーが大学で学生に説いた講演の記録である。当時のドイツの大学進学率は今日の日本の大学院進学率より低かった。必然的に、大学生は超エリートであり、大学教育の主要な目的の一つに後継者養成があり、学生の多くは大学に職を求めることを想定していたと思われる。
- 本学会の会員数から言えば、OR を職業とする人々の数は、ヴェーバーの時代に学問を職業とした人々の数より少ない (対総人口比で)。人数だけから言えば、OR を職業とする人々は超エリートということになる。

- 「職業としての学問」の中でヴェーバーは学問の分化を指摘している。これに関連して、ヴェーバーは、19世紀の科学が求めてきた普遍的価値観や絶対知というものを批判し、価値自由論を唱えた。
- 専門分化は、自然科学・工学等々も含むあらゆる分野で、今日、ますます進んでおり、他分野の専門家とは話が通じないほどである。その中で、おそらく唯一の例外はORである。ORは工学・自然科学から社会科学に至るまで、広範囲な分野に入り込み、問題解決の数理的な手法を提供する。ORは諸科学を専門分化から救う唯一の道ではないだろうか。この点で、ORはヴェーバーの問題意識とは異なると思う。
- (中森真理雄)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 中森真理雄(東京農工大学)

委員 池上敦子(成蹊大学), 大村弘之(日本電信電話(株)), 岡田 勇(創価大学), 岡野裕之(日本アイ・ビー・エム(株)), 住田 潮(筑波大学), 高橋一喜(東京ガス(株)), 高橋彰子(株 NTT データ), 田村一軌(財団法人 鉄道総合技術研究所), 田村亮二(キヤノンシステムソリューションズ(株)), 土屋利明(日本電信電話(株)), 所 健一(財団法人 電力中央研究所), 生田目崇(専修大学), 根本俊男(文教大学), 廣津信義(順天堂大学), 藤本 衡(東京電機大学), 増田浩通(東京理科大学), 三浦英俊(明海大学), 村井雅彦(株 東芝), 山下英明(首都大学東京)

本誌に掲載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成19年3月号 第52巻 第3号 通巻555号

代表者 青木利晴

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル

電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113-0032

<http://www.orsj.or.jp/>

編集人 中森真理雄

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151-0051

●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価970円(本体924円)年間予約購読料11,040円(税込)

●本誌への広告お申し込みは明報社(3546-1337)へ